

CASE STUDY

## 浦添市立 神森中学校

### 全員で前向きな価値を生み出すための校務の効率化・教育DX※

本校は、生徒数850名を超えるマンモス校ですが、生徒・職員・保護者・地域の皆様が「チーム神森」となり校訓「明朗進取」を目指しています。昨秋には、生徒会を中心に全校生徒で「学校生活のきまり」の一部見直しに取り組みました。生徒からの提案を機に、職員・生徒が建設的な議論を通してルールを変えていく。生徒一人一人がその変化を実感することで、自ら学校運営に参画している意識や責任感を高めていくと考えます。



本校における校務の効率化・教育DXに関する取り組みは「明朗進取」に新たな価値を見出すための挑戦となるでしょう。

※教育DXとは「学校ICT環境を活用し、生徒の学び方と教師の働き方を変革すること」

# 01 生徒の98%が「学校全体でICT機器を活用している」と答える学び舎



ICTおよび校務の効率化に関して、教務・情報担当の教員を中心に研修会を実施するだけでなく、職員同士で質問し教え合う様子が常に見られます。

ABC-Zについては、試用開始前に、全職員へ研修資料および説明動画の共有を図りました。その後、ICT機器操作を得意とする教員複数名が夏休み等を利用してABC-Zの活用方法をマスターし、他教員へレクチャーしていく体制を整えました。ICT機器操作に不安な教員達には、同僚からサポートしてもらえ安心感があったと思います。そのため、ABC-Zの校内啓発をスムーズに進めていくことができました。

- point**
- ▶ 研修資料および説明動画が充実
  - ▶ ICT機器操作を得意とする教員が主導
  - ▶ 教え合うことによる職員間コミュニケーションの向上

## 開発元と共同して、成績処理の手間を削減 02

これまでの成績処理は、教員が作成した評価評定支援エクセルを介して行われていました。2022年度、市立中学校に『スズキ校務』が一括導入されてからは、同システムで評価・評定を行えるため、本校では、『スズキ校務』で、直接、成績処理を行う準備を進めており、校務データの統一を図っています。

ABC-Zと『スズキ校務』のデータ連携ができるように、開発元と話し合い、教員の成績処理の手間の削減を実現しました。本校の運用法に合わせて、ABC-Zが改修されたことも、校務の効率化における大きな収穫と考えます。

評価評定支援エクセル

	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	
1			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18		
2			1	1	1	1	1	1	2	3	3											
3			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
4			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
5			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
6			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
7			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
8			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
9			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
10			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
11			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

● スズキ校務は、スズキ教育ソフト株式会社が開発している校務支援システム、同社の商標です。



浦添市立教育研究所のみなさん

浦添市教育委員会は、ABC-Zを導入したことにより先生方の時間的、精神的ゆとりへのつながりひいては教育の質が向上することも期待しています。

The officer's voice

中学校では通常お一人の先生が100名以上の生徒を担当され、技能教科の先生の中にはお一人で全校生徒を担当する方もいらっしゃいます。そのような先生方のテスト業務に、ABC-Zを導入したことによるメリットとして、従来のつくり方で作成したテストにも対応すること、選択式の問題は自動採点されることによる採点業務の負担軽減が挙げられます。すべてを自動化するというのではなく、記述式の問題を先生の手で採点することは個々の生徒理解、ひいては「個別最適」な学びの実現には重要なことだと考えます。（指導主事 佐々木）

### 03 教員一人一人のさらなる授業力向上を目指していきたい

校務情報化・校務DXが進むことで、これまで繰り返し行っていた同じ作業を、一連の流れで1回で済ませることができ、大幅な校務軽減・業務負担改善につながることを期待されます。また、校務データの管理が統一されることで、人為的ミスが減らすことができます。

今後の目標として、生徒の学習用タブレット端末の活用が進むことから、「個別最適」な学びの実現に向けて、教員一人一人のさらなる授業力向上を目指していきたいです。



### 「学校へ行くのが楽しい」率、85%達成に向かって 04



本校の学校評価達成指標の中で、特に重点を置いているのは、生徒の85%が、学校へ行くことについて肯定的に答えることです。その目標に向かって、「わかる授業」・「参加したくなる授業」の実践をはじめ、係や委員会等の課外活動による生徒の自己肯定感の向上にも力を入れています。学びからの発見・体験・再発見を通して、学力のみならず健やかな心身と主体的な探究力や実践力を育みたいと考えています。校務情報化で、職員も生徒も、教育本来の目的のために使える時間が増えました。ハンドボール部は、全国で一二を争う屈指の強豪。部活動でも、普段の学校生活で育まれた精神が生きています。

取材協力：浦添市立 神森中学校

**Zetta** ゼッタリンクス株式会社

<https://www.zettalinx.co.jp/>

〒116-0013 (東京本社、福岡、仙台)  
東京都荒川区西日暮里5-14-4 KYビル5階/6階  
TEL. 03-5615-3761 FAX. 03-5615-3762



ABC製品サイト

お問い合わせはこちら、

● Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。  
● 記載されている法人名、団体名および商品名などは、一般に商標または登録商標です。